

美しい海を 次の世代に

私たちの生活に利便性と恩恵をもたらした素材であるプラスチック。このプラスチックが海洋に流出することによる環境への影響が懸念されています。今、私たちに何ができるのかを考えてみませんか。

『年間数百万トン』

この膨大な量のプラスチックごみが、世界全体で海に流れ込んでいると推計されています。

プラスチックは、軽くて丈夫な素材で加工しやすく、食品や飲料の容器、日用品、家電など、ありとあらゆる場面で使われています。

しかし、その一方で、自然界に流出してしまうと、優れた耐久性・安定性のゆえ、容易には分解されません。プラスチックごみが河川などを通じて海にたどり着き、海の生物が傷ついたり、餌と間違えて食べてしまったりするなど、海の環境や生態系への影響が心配されています。

『陸から海へ』

プラスチックを含む海洋ごみの多くは、陸から海へ流出したものであるといわれており、プラスチックがごみとして散乱しないようにすることが、海への流出を防ぐことにつながります。

まず、プラスチックごみの発生を減らすライフスタイルが大切です。マイバッグやマイボトルを活用することで、レジ袋やペットボトルなどのプラスチックを減らすことができます。

また、ごみ出しのマナーを守ること、ごみの散乱を防ぐことができます。ごみ出し時間を守り、正しく分別してごみステーションに出しましょう。

買い物をするとき
食事をするとき
ごみ出しをするとき

生活のさまざまな場面で一人ひとりができることに取り組むことで、この豊かで美しい海を次世代に引き継いでいきましょう。

マスクなどのごみの出し方に協力を！

感染症に感染した人やその疑いのある人などが使用したマスクやティッシュなどのごみを捨てる際は、左記のイラストの手順で「指定有料ごみ袋」に入れて「燃やせるごみ」の日に、ごみステーションに出してください。

家族だけでなく、近所の皆さんや収集作業員にとっても、新型コロナウイルスウィルスなど感染症対策として有効ですので、ご協力をお願いします。

マスクなどの出し方

1 ごみに直接触れない



※マスク本体に触らないようにポリ袋などに入れる

2 しっかりしばって封をする



※袋が破裂しないように空気を抜いて

3 指定有料ごみ袋に入れて



※燃やせるごみの日に出す

4 ごみを捨てた後は手を洗う



※せっけんなどを使って、流水で手をよく洗いましょう

ポイ捨ては絶対にやめましょう

合併処理浄化槽に設置替えしましょう

海や川が汚れる大きな原因は、家庭からの生活雑排水です。

「単独処理浄化槽」は、トイレからの排水しか処理できません。台所やお風呂、洗濯などからの排水(生活雑排水)は、そのまま海や川に放流されるため、環境汚染の大きな原因となっています。下水道などの未整備地域にお住まいの方はすべての生活排水をきれいにする「合併処理浄化槽」に設置替えして、水環境の美化にご協力ください。

※補助対象地域や物件などに条件があります。詳しくは、廃棄物対策課または浄化槽関係業者にお問い合わせください。

問 廃棄物対策課 ☎540・5850

一般住宅で、「単独処理浄化槽」などから「合併処理浄化槽」へ設置替えする場合、補助制度があります。



リサイクル公式SNSアカウント

ごみの減量に役立つ知識や食材の使いきりレシピなどをお知らせしています！



Instagram
(インスタグラム)

Twitter
(ツイッター)

🔍 @recyclen_oita で検索！

問 ごみ減量推進課 ☎537-5687



市ごみ減量・リサイクル推進イメージキャラクター
リサイクルン